

☆ みんなと一緒に ～みんなと学ぶ勉強会・研修会～ ☆

☆協力会では、勉強会や研修会を開き、みんなと一緒に楽しく学んでいます☆

★企画展・特別展 勉強会★

勉強会では、学芸員が講師として、協力員の方に展示物を見ながら説明を行います。毎回新たな知見を得て、驚きや面白さを感じています。熱心に話に聞きいたり展示品をご覧になったりされ、多くの質問が飛び交う活発な勉強会になっています。



★ボランティアガイド研修★

来館者に対して、展示の解説をするための研修会を年に3回行っています。前期は座学・後期は展示解説、最後は実際に解説をする実習を行います。今年度は新たに1名の方がガイドになりました。訪れる方に満足していただけるよう、独自のファイルを作成したり工夫されたり、ガイドさん自身も知識を広め、高めています。



★勾玉づくり・火起こし研修★



児童生徒さんの体験活動として、勾玉づくりや火起こしがあります。そのお手伝いを行うため協力員の方が実際に体験しながら手順やコツを把握していきます。そうすることで、実体験から子どもたちに教えることができます。もちろん制作物は持ち帰っていただけます☆

☆ 県外研修旅行 ～ 八王子城跡・国立科学博物館 12/13 ～ ☆

年に1度、県外研修を実施しています。今年度は、八王子城跡と国立科学博物館に行きました。はじめに、戦国時代に北条氏が築いた山城である八王子城跡を見学しました。現地のガイドさんから丁寧に説明していただき、山城に施された工夫に惹きつけられていました。お昼をはさみ、いよいよ古代アンデス文明展です。多くの展示品を真剣なまなざしで見学されていて、いくら時間があっても足りないようでした。実り多い充実した時間を過ごすことができ、協力員の方の絆も深まった研修旅行になりました。協力員の方の研修記録をご紹介します。



飯田 敬さん

天候に恵まれ、充実した 1 日でした。八王子城は寒かったが路面が凍結しており、かえって歩きやすかった。御主殿の登り口の石段の前で、ガイドが「ここは虎口という所だがなぜそう言うのか。」と問われたので、私が「虎が牙を向けて待ち構えている場所だから」と言うのと一笑され、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」からきているという。守る兵が武器を構えて向かってくる敵を撃退する場所なので、これは私の方が正しいのでは。久しぶりのさわやかな運動になりました。朝、徴収された 3,000 円よりおそらく高いであろう旨い寿司に満足する。古代アンデス文明展では、広いスペースに展示され見やすかった。タブレットで詳細に知ろうとするも、なかなか。それでも各文明の入り口にスクリーンがあり、遺跡の様子をわかりやすく映し出してくれる。それなりに知識を得られた。これらの特別展が来年 5 月に我々の考古博物館で開催される。楽しみに協力員として微力ではありますが働かせてもらいます。ありがとうございました。

小方 愛江さん

協力会県外研修に参加させて頂き、ありがとうございました。最初、八王子の城跡を見学に行き、ガイドさんの説明を受け、とっても天気の良い日だったので楽しく見学出来ました。御主殿の跡の説明で落城後は幕府直轄や国有林だったので当時のままの状態に残されたと聞かされ、見学出来ました。次に御主殿の滝の見学、その滝には北条氏の武将、婦女子が奴隷にされるのを恐れ滝の上流で自刃し、次々に身を投じたそうです。その血で城山川の水が赤く染まったと話されていました。滝の出口にはお地蔵さんがありお供え物がたくさん供えてありました。八王子城跡の見学も終わり、お昼は築地の「すしざんまい」で頂きました。とても美味しかったです。午後からは国立科学博物館の見学で、アンデスってナンデスカ？アンデス文明展をゆっくり見学させて頂き、山梨の考古博に展示されるのが楽しみになりました。多くの方々に宣伝したいと思います。会長さん 始め、職員の方々ありがとうございました。又、協力員の皆様方ありがとうございました。

**遠藤 栄子さん**

当日は晴天に恵まれ、素晴らしい研修旅行となった。まず、八王子城跡見学という事だったが八王子に城があった事を初めて知り驚いた。車中の友人達も異口同音だったが、ガイドの説明で広い城跡と先人達の敵をあざむく城内への迷路等に驚嘆した。又、関東屈指の山城であると知った。アンデス展では広い科学博物館の中で展示されている文明展に興味津々。南米の海岸沿いに、文字もなかった人々が長い年月をかけて文明を築いた展示に感激し、得難い研修旅行となった。又、来年の 5 月に特別展で発表されるのを楽しみに、ゆっくり勉強したいと思った。企画してくださった職員の方々に感謝致します。

**薦木 りえさん**

29 年度県外研修、1 日通してとても楽しく参加できました。戦国時代にあまり興味が無かった私でしたが、ガイドさんのお話が面白く良い時間が過ごせました。古代アンデス文明展ではキャプションを読む時間が無く、ひとつ一つの文化の特徴を捉える事があまり出来ませんが、本邦初公開のティワナク文化の遺物を見られてよかったです。今文化展は、写真の撮影が OK なのもとてもうれしく思いました。写真と図録を見返し、これからの県開催に備えます。

窪寺康一さん

12 月 13 日 晴天に恵まれるなか、県外研修に出かけました。最初の研修地「八王子城」については以前豊田秀吉の小田原攻めの書物を読んだとき、一度訪ねてみたいと思った山城でありました。現地のボランティアガイドの説明に耳を傾けながら各遺構を周回しました。一人ではなかなか重い腰が上がりず実現しませんでした。今回は良い機会を得ました。

昼食はテレビでお馴染みの「すしざんまい」で美味しいお寿司をいただき、これも帰宅後家族との話のネタになりました。ただ、私のような田舎者には握りのシャリが少なかったのが気になりました。

最後に「古代アンデス文明展」では、アンデスの広い地域の長い時代にわたっての遺跡の数々に驚きました。また、どこの遺跡でも人物や動物をかたどった表情豊かな土器、それに彩色の美しさに感心しました。数多いカタカナ表記の遺跡の名称には、ついて行けなかったのが実際のところ。本県での開催で、少しでも身に付けばと思っております。最後に、今回有意義な研修を企画された関係者に感謝するとともに、本県開催時には来場者におもてなしの気持ちで接したいと思っております。

田丸 進さん

アンデス文明の全体像が、時系列的に展示されており、アンデスの各文明の繋がりが解りやすかった。土器類は形も使われ方も縄文土器と似ているところがあるように思えるので、考古博物館での開催時には、比較して見てみたい。

眞田 義夫さん

今回の県外研修参加人数は、34名、当日の天候は日本晴れ、最高の天気でも八王子城跡の見学が雨天の場合心配で、山土で足下も悪くだけど、皆さんの心掛けが天にも通じ、嬉しい県外研修になりました。バスの中での自己紹介を曜日が違う人達、いつも顔を合わせない人達が個性ある紹介で心も意気投合し、車内では楽しい会話があふれていました。最初は八王子城跡を見学、現地のガイドの案内で城内を説明され、土塁（土を盛り固めて曲輪の周囲を囲み敵の侵入を防ぐ）、曳橋（戦いの時に取り外せば敵がわたれない）、虎口（曲輪の出入口を直進出来ないようにするなどして、侵入しづらく工夫される）等、ガイドにしてもらいました。又、昼食は築地場外市場すしざんまいにて、午前中八王子城跡を散策しお腹がすき、皆さん美味しく食べて、午後からの国立科学博物館にて、古代アンデス文明展を見学しました。展示内容は、第一章アンデスの神殿と宗教の始まり、第二章複雑な社会の始まり、第三章さまざまな地方文化の始まり、第四章地域を越えた政治システムの始まり、第五章最後の帝国～チム王国とインカ帝国、第六章身体から見たアンデス文明で構成され、2時間の見学時間で魅了されました。5月に県立考古博物館での開催を楽しみにしています。

們 月美さん

八王子城跡は、北条氏照が築いた戦国時代の山城でした。調査の結果、建物跡や池を配した庭園跡などが見つかったのですが、残念なことに埋め戻されてしまい、現在見られる物は新しく作った礎石でした。多くの出土品からは戦国時代でも優雅な生活をしていた事を感じることができました。古代アンデス文明展は科学の発達していない時代の自然の中で神を信じる中で発達した文化。特に土器はふしぎな形が多く目につきました。見事な模様、色彩、細工には驚きました。日本の土器とは違うと思いました。もう一度じっくり見たいと思います。楽しい一日をありがとうございました。

杉野 美幸さん

協力会の研修旅行は、毎年楽しみです。八王子城跡は、ボランティアガイドさんの愛のあるわかりやすい説明でした。ここ10年、なんとなく勉強してきたことが蓄積され、だんだんとわかる事が増えてきたので、やりとりもまた楽しかったです。ボランティアガイドの手作り資料はそれぞれどのような視点から注目するかによって楽しみ方、伝え方も違います。ガイド復帰したら、あれもしたいこれもしたいと思うアイデアがいろいろとわいてきました。

アンデス展もシカン、ナスカ、インカの勉強がようやく活きてきて、ケチャ、ケロ結びひもや織物など総括した学びからの楽しみもあり、今回は特にそれぞれの独特の文化特色についてもわくわくした気持ちで過ごせました。協力会の同志との時間は、とても楽しいものです。今期忙しく？時間の使い方を工夫することができずただ毎日を通っていたので、とてもゆったりと楽しめました。居心地のよい協力会。これからもパワースポットとして末永く活動を続けられればと思っています。ありがとうございました。

保坂 和香子さん

鮮やかな色彩とちょっと滑稽な図柄が楽しめたアンデスの土器など。日本の土器が地味に感じるのはなぜなのでしょう。植物なのか土なのか…色見の出るモノがなかったのでしょうか？地形や気候、気質の関係で差が出るのだろうかと思いを巡らせました。山梨ではどのような部分をメインにしてアピールするのか楽しみです。たくさんの人に見てもらいたいと思います。

アンデス展もさることながら、八王子城も楽しみにしていました。似たような成り立ちの武田神社北側に住む私にとっては八王子城の歴史を知るということは地域を知ることでもありました。地域の歴史を知りたいと思っている私にとって良いきっかけとなりました。ガイドさんにも聞きたいことがありましたので暖かくなったらまた訪ねたいと思います。お世話になりありがとうございました。微力ながら今後も協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

藤原 尚美さん

八王子 JCT から圏央道に入るとすぐに『八王子城跡トンネル』がでできます。青梅方面に向かって通るたびに気になってはいましたが、今まで北条氏の時代の城があったとは知りませんでした。今回八王子城跡を御主殿まで歩きましたが御主殿へ続く道に敵の侵入を防ぐための工夫がされていることや古い時代の山城にない石垣を取り入れた城であったこと、山中の木立に囲まれた八王子城御主殿には2棟の大型建物や庭園があったことに驚きました。

国立科学博物館での古代アンデス文明展では、おおまかにアンデス文化を知ることができました。ナスカ、シカンやインカなどいくつかの文化は断片的に知っていましたが、アンデス山脈が連なる各地に、山の文化や海岸の文化が年代を超えていくつもあったことを知りました。ナスカ文化の刺繍マントやモチェ文化の不思議な形の土器と精巧な黄金細工、チャビン文化やティワナク文化など多くの装飾土器に感動しました。研修旅行を実施していただきありがとうございました。

藤森 たか子さん

12月13日県外研修は1日晴天、その上昼食も美味しく満足しました。朝一八王子城へ、戦国時代の地形を生かして築く広大で険しい山城です。木立の鬱蒼とする午前中霜柱を踏んでの見学でした。本丸へはアップダウンが続き今回訪れた御主殿よりさらに遠くとボランティアさんに説明して頂きました。昼食後は国立科学博物館の「古代アンデス文明展」へ。15,000年間南北4,000キロ、標高差4,500mの多様な文化の盛衰は、宝物がやたらとあって頭が混乱しそうです。来年山梨の展覧会までに、自分なりに整理整頓して理解しておく宿題が残りました。最後に今回の研修旅行を企画実行してくださいました事務局の皆様ありがとうございました。

★ 県内研修旅行 ～ 北杜市考古資料館・金生遺跡 3/24 ～ ★

3月24日、春の訪れを感じる陽気に包まれながら、平成29年度協力会県内研修旅行を行いました。今年度は、北杜市考古資料館と金生遺跡を見学しました。遠くにそびえる山々に囲まれ、とても気持ちのよい環境の中での研修となりました。また、北杜市教育委員会の村松佳幸氏に丁寧に解説していただき展示物を見ながら真剣に耳を傾けていました。そして、北杜市考古資料館から金生遺跡までは徒歩で移動！行きは下り坂で20分、帰りは登り坂で30分！見聞を深め体力向上にもなった研修旅行でした☆

下記は、研修旅行記の紹介と当日の様子です。

北村 正仁さん

北杜市考古資料館に集合した人たちはやや肌寒い八ヶ岳を見上げ、近づく春を感じながら学芸員の村松氏の説明を静かに聞き入っておりました。

資料館から歩いて下り道20分、「金生遺跡」の見学と解説を聞きました。縄文後晩期の遺跡4棟の復元された平地式住居の南面に大小の自然石を配した墓と祭場が東西に並び、大きな謎を残しながら再現されていましたが、金生（きんせい）が土地の字名であり、それが金精神に繋がることが確認できたこと、まだこの下に未知の遺跡があることも解り、ますます今後の発掘が楽しみです。帰りは登り坂を30分、しんどかった！

内藤 敏夫さん

数日前に降った雪もすべて消え、風のない暖かな日の研修でした。北杜市は日本の屋根とも言われる南アルプス山脈に続く甲斐駒ヶ岳、北に八ヶ岳連峰、東は瑞牆山、茅ヶ岳、金峰山へと続く。北杜市考古資料館や金生遺跡に於いて、村松学芸員から丁寧な説明を頂きました。八ヶ岳の噴火や崩落等により、残されたなだらかな裾野で縄文王国の名のごとく縄文人が多くの子宝に恵まれる祈りの出産土器をはじめ、様々な土器からよい環境の中で文化的な繁栄をしたことがよくわかりました。ウォーキングを取り入れた楽しい研修でした。次回を楽しみにしています。

山縣 仁美さん

まず、北杜市考古資料館では、学芸員の方から展示物だけでなく、この地域の地学的な成り立ちをはじめ、太古からの歴史全般についても解説していただき、とても勉強になりました。金生遺跡ではこの場所が縄文時代後～晩期、およそ1,000年間にわたって使用され続けた場所であり、住居や祭りの場の詳しい説明をいただきました。特に印象に残っているのは、使用されている石が近隣で採れるものばかりでなく、遠く釜無川あたりから運ばれたものもあるということで、当時の人々の知恵とパワーと、この場所の大切さを感じました。資料館と遺跡の間は徒歩移動でしたが、おだやかな春の好天で、参加の皆さんとおしゃべりしながら歩いて行くととても楽しいひとときでした。心より感謝申し上げます。



穂坂 はるみさん

青い空、白い雲、雪が残る山々、澄んだ空気の中、金生遺跡がどんなところかとワクワクしながら協力員の皆さんと向かいました。大きな配石遺溝に立ち、今のように科学的な技術や知識もなかった人々が、地球の火山の活動に伴う地形の変化の中で、自然と共存し、知恵を絞り、暮らしてきたこと、もしかしたら今私が見ているこの山を、空を、数千年前に生きていた人達も見ていたかもしれない。何を思い、何を話し、何を考えていたのだろうか？と思いを巡らせ、当時の人々と少し繋がれた気がしました。

北杜市考古資料館では北杜市の遺跡の分布や地形の成り立ちを聴き、巨大な縄文土器、人や動物の飾りをつけた複雑な形の土器、遮光器土偶を真似たと言われる中空土偶らに感動し、一つとして同じものがない小さな土偶のカケラを見て、昔も私のように不器用な人がいたかもしれないと思ったら、ちょっと親近感が湧き、いくら眺めていても飽きることはありませんでした。基礎知識がない協力員一年生の私にとっては、こうして見るもの聞くもの全てが新鮮で本当に楽しくて仕方ありません。もっともっといろんなことを知りたいと思いました。そして、数千年前の人々の延長上に自分が在ることも実感でき、とても楽しい時間を過ごすことができました。どうもありがとうございました。

☆ 一緒に学びましょう～ ボランティアガイド ～ ☆

考古博物館では、協力員の方が来館者の方のために展示の解説をしています。訪れた方と会話を楽しみながら、お互いに教養を広げ深め合っています。

また、この展示解説は研修を受けられた『ボランティアガイド』になられた方がしています。知識だけでなく、様々なことをお話しして下さいます。そして、展示物を見るだけでは気がつかないことを発見させてくれるはずです☆ ぜひ、ボランティアガイドさんとの会話に浸り充実した楽しいひとときを過ごしていただけたらと思います。

★ 華やかに お出迎え ★

協力員のみなさんは、こんなところでも力を発揮されています。考古博物館の受付には、協力員の方が生けたお花やかわいい干支の動物たちが来館者のみなさんをお出迎えしています。特技や趣味を活かして、きらびやかに彩っていただいています。

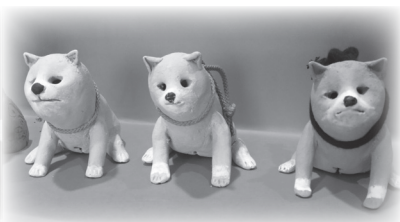
また、協力員さん同士で趣味の話に花を咲かせたり特技の技を教え合ったりされていて、和んだ雰囲気の中で活動されている様子がとても素敵です☆



原田みゆきさん作



山地千恵子さん作



北村正仁さん作

★ 楽しい 協 力 会 ★

考古博物館では、2年毎に協力員の方を募集しています。いま活躍されている方はもちろん、新たに協力員として活動して下さる方をお待ちしています。山梨県の歴史や考古に少しでも興味のある方もみんなで集まり和気あいあいと活動されたい方も、実りある楽しい時間を一緒に過ごしませんか!?

普段見ることのできないものや、触ることのできないものを見たり触れたりする機会もあります。貴重な経験を積みつつ、楽しく学び活躍し、私たちと一緒にふるさとの歴史が詰まった考古博物館を盛り上げていきましょう☆

☆ぜひ一度、お越しになってください。お待ちしております☆

◆ 編集後記 ◆

新たな体制でスタートした平成 29 年度の協力会。今年度も多くのご協力をいただきました。協力員のみなさまの優しさや想いによって支えられていることを実感した1年でした。本当にありがとうございました。

平成 30 年度も、よろしく願いいたします。

【事務局】

印刷：株式会社峡南堂印刷所